

令和5年度 第1回

ケアマネとリハ職の 情報共有の練習会

定員 75名

参加費無料

今回の事例：

社会参加の場に一步踏み出せない脳梗塞後遺症の事例

日時：

令和5年

7月18日(火)

19時00分-20時30分

場所：

姫路市総合福祉会館

5階 第1会議室

対象者：

ケアマネジャー等、
リハ職 (OT・PT・ST)

企画・協力：

- ・兵庫県言語聴覚士会中播磨ブロック
- ・兵庫県作業療法士会中播磨ブロック
- ・兵庫県理学療法士会中播磨支部
- ・兵庫県介護支援専門員協会姫路支部

<問い合わせ・申込先>

姫路市在宅医療・介護連携支援センター (受託者:姫路市医師会)

TEL : 079-295-3330 FAX : 079-295-3351

E-mail : med-care@himeji-med.or.jp

【ケアマネの皆さん】

リハ計画書の
活用術を学ぼう！

【リハ職の皆さん】

伝え上手な
リハ職になろう！

内容

ケアマネジャーとリハ職がグループワークで、一緒にリハビリテーション計画書の情報を整理し、どのようにケアプラン作成に活用できるかを検討する

練習会で学べる

ポイント

リハビリテーション計画書の

【ケアマネ】

- ①読み取り方
- ②目標設定や支援上のリスク管理への活用方法

【リハ職】

- ①実際の伝わり方
- ②ケアマネジャーや介護職に必要な情報の伝え方

★事前申し込みが必要です。
裏面をご確認ください。

ケアマネとり八職の情報共有の練習会

2022年7月18日(火) 19時00分～20時30分

【申し込み方法 および申し込み先】

申し込み方法①「参加申し込みフォーム」からのお申し込み

※可能な限り「参加申し込みフォーム」からのお申し込みにご協力ください

URL → <https://forms.gle/nmYmEvtYz3TUtLBW9>

(当センターホームページ「研修スケジュール」からも申し込みできます)

参加申し込みフォームに必要事項を入力しお申し込みください

参加申し込み
フォーム
QRコード



申し込み方法② メールまたはFAXにてお申し込み

E-mail : med-care@himeji-med.or.jp

FAX : 079-295-3351

下記必要事項をお知らせください

《必要事項》

①研修会名 ②氏名 ③所属機関名 ④職種 ⑤E-mailアドレス

⑥電話番号 ⑦FAX番号

⑧必要な配慮がございましたらご記入ください

※直接連絡の上、相談させていただきます。状況により、対応できない場合は
ご了承ください

＜例＞車いすスペース、障害者等専用駐車スペース、介助者の同行、手話通訳、
要約筆記、点字資料、拡大文字資料、その他（具体的に）

★申し込み締切：7月11日（火）

※定員に達した時点で受付を終了しますので、お早めにお申し込みください

- ・メールまたはFAXにて申し込み受付完了のお知らせをお送りいたします
お申し込みから4～5日経ってもお知らせが届かない場合は、受付できていない場合
がありますので、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします
- ・当方からの連絡事項等（例えば新型コロナウイルス感染予防対策による中止や延期な
ど）がある場合、お申し込み時に必要事項にてお知らせいただいたメールアドレスに
お送りいたしますので、適宜メールのご確認をお願いします

＜お問い合わせ先＞

姫路市在宅医療・介護連携支援センター（受託者：姫路市医師会）

対応時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前8時35分から午後5時20分

TEL：079-295-3330

E-MAIL：med-care@himeji-med.or.jp

FAX：079-295-3351

ホームページURL：<https://www.himeji-renkei.com/>

※研修会当日は、お問い合わせやメールへの対応ができないことがあります

ホームページ
QRコード



第5回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和4年11月7日(月) 19時-20時30分 姫路市総合福祉会館



リハ職が書いた情報提供書(リハビリテーション計画書)の内容をケアマネジャーとリハ職が一緒に読み取ることで、
《ケアマネ》生活機能の今後の可能性(将来予測)や、生活上の注意をどうやって確認するか
《リハ職》どんな情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのかについて考え、深めていくことを目的とした練習会になります。
第5回は、ケアマネジャー14名、リハ職16名が参加されました。

今回は、理学療法士会より事例提供(リハビリテーション計画書をご作成)をいただきました。コロナ第7波の余韻が残る中ですが、基本的な感染対策を守り、7つのグループに分かれて話し合いを行いました。「やっぱり、顔を合わせて皆と会話できるのがいいな。」という声が聞かれ、分からない事などを聞き合い、互いに学びを深める時間となりました。



今回の学び・気づき ~グループ発表のご意見より~

- ・《ケアマネ》計画書(紙)だけでなく直接の情報共有が必要
→《リハ職》カンファレンスの活用、送り合った情報のすり合わせが必要
- ・《リハ職》専門用語はケアマネさんに伝わらないので、どんな影響が出るのかが分かる表現にする。
→《ケアマネ》計画書の各表の見方(MMT、BRS など)、紐付いていることがわかった。



《参加者アンケート 回答(一部抜粋)》

- ・専門用語の意味を理解し、本人や家族にケアマネからも声掛けをしていきたい(ケアマネ)
- ・目標設定には、ゴールを付けない方が本人様が取り組みやすい場合があるという意見を参考に、その人となりを観察しながら寄り添いたい(ケアマネ)
- ・リハ計画書の専門用語の解釈や連携すべき事柄がより明確になった(ケアマネ)
- ・担当者会議の際には、リハ計画書を持参し、お互いにすり合わせが必要だと思った(ケアマネ)
- ・専門用語を使わずに、日常生活動作と絡めて記述すると伝わりやすかった(リハ職)
- ・目標設定などを明確に、改善点は数値化するなど、わかりやすさに気をつけようと思った(リハ職)
- ・報告書など、専門的な表現を誰が見ても想像しやすいように意識できるようになった(リハ職)

「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は次年度も開催を予定しております【日時未定】
今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます